

第25回都市分権政策センター会議 議事概要

- 1 日 時：平成30年7月10日（火）13時30分～15時15分
- 2 会 場：日本都市センター会館 6階601号室
- 3 出席者：立谷共同代表（相馬市長）、大西共同代表（高松市長）、
本間委員（ひたちなか市長）、清原委員（三鷹市長）、服部委員（茅ヶ崎市長）、牧野
委員（飯田市長）、太田委員（豊田市長）、亀井委員（名張市長）、久保田委員（宇部
市長）、横尾委員（多久市長）、
大杉委員（首都大学東京法学部教授）、金井委員（東京大学法学部・大学院法学政治学
研究科教授）、鎌田委員（地方財政審議会委員）、後藤委員（早稲田大学理工学術院
（創造理工学部）教授）、斎藤委員（東京大学大学院法学政治学研究科・法学部教授）、
西村委員（成蹊大学法学部教授）

計 16名

- 4 会議概要：立谷共同代表並びに大西共同代表挨拶の後、大杉委員（「都市自治体の公民連携（文化・芸術振興）に関する研究会」座長）から、「都市自治体の文化芸術と公民連携」と題し講演。その後、各委員との間で活発な意見交換を行った。

なお、大杉委員からは、上記研究会（2016年から2年間設置）の研究成果を踏まえ、文化・芸術を通じた公民連携のあり方、自治体行政が担うべき役割などについての報告が行われた。

最後に、「第6期都市分権政策センターの活動」について、本年度から市長並びに有識者をメンバーとする「地域社会を運営するための人材確保と人づくりのあり方に関する研究会」を設置（2年間）し、調査研究を進めていくこととした旨、事務局から報告があった。

以上

※『講演録』は、機関誌「都市とガバナンス」（2018年9月/第30号参照）。

また、『質疑・意見交換』については、別紙参照